

第1号議案(1)

令和6年度事業報告書

令和6年度、私たちをとりまく社会はまさに激動の渦中にあり、格差社会が顕著となり、少子高齢化による人口の減少、増税や諸物価の高騰等による政府への不満がより一層の高まりをみせた一年であった。また、深刻化する人手不足や原材料の高騰、AIの急速な進化拡大と業務合理化の問題なども、私たちの経営を圧迫する要因として顕在化してきた。

こうした一層厳しさを増す社会状況においても、法人会は経営者の交流の場であり、地域における人と人とのつながりの大切さを念頭に、会員交流の場を増やし、会員様へのニーズに沿ったセミナー、イベント、さらに地域貢献事業など法人会が提供できる会員サービス、メリットの提供とはいかなるものであるかを常に念頭におき、会員企業の事業の発展および地域の振興に寄与すべく積極的な活動を展開した。

I. 総務組織関係

＜組織の強化・充実＞

1. 令和6年度の会員増強運動は、10月～12月の短期増強運動から、4月スタートの通年増強運動に運動期間を延長し取組ました。獲得目標数は、純増目標を考慮し支部目標69社とその他共済会社等目標56社合計125社と設定し、増強運動を実施した。本部・支部並びに厚生制度受託会社等の皆様のご協力により126社を獲得し目標を達成することができました。しかしながら、今年度の退会社数126社あり、奇しくも獲得数と同数となり純増には至りませんでした。退会理由の約半数は廃業、休業が占めており油断はできない状況は今後も続くことから、会員相互支援など、会として可能な支援策を講じることが必要であり、会員交流や支部活性化等の退会防止策との併用で会員減少を防止していくことが引き続き急務である。

※主な退会理由 休・廃業56社、営業不振10社

【会員動向】

	会員数	稼働法人数	加入率
令和 5年3月末	2,716	8,771	30.9%
令和 6年3月末	2,717	8,771	30.9%
令和 7年3月末	2,717	8,771	30.9%

＜総務関係＞

1. 公益法人としての理念・社会的使命を会活動に円滑に反映させるため、本部の諸会議、支部会合及び部会役員会を積極的に開催した。また税務関係諸団体並びに東京法人会連合会、東法連第3ブロックの各法人会等と緊密な連携を保ち運営の衝にあたった。
2. 税務連絡員活動
346名の支部役員が税務連絡員に就任。会員の税に対する要望、苦情等の声を税務当局に伝え、税務行政に反映してもらうため会員と署のパイプ役として活動した。税務連絡員会同では49名が参加し、税務連絡員としての意識を高めた。
3. 支部活動
支部活動は、よき経営者を目指す同じ地域に住む会員が、お互いに知り合い、話し合い、高め合うことを目的に各種事業を開催した。法人会の研修会等を通じて、経営や税知識の修得に努め企業の発展に役立てると共に、税務署の方々との意見交換も図った。

令和6年度は、税務署の協力も得ながら別掲のとおり役員会、ブロック税務研修会、支部総会等を開催した。

4. 部会活動

当会の下部組織である青年部会・女性部会は、別掲のとおり報告会、役員会、税務研修会・イブニングセミナー、バス研修会・文化鑑賞会等を開催すると共に事業内容の充実に務めた。

5. 税務六団体関係

税務行政への協力団体並びに当会の友誼団体として組織されている蒲田税務六団体と協調し、納税思想の高揚に努めた。また、納税表彰式、税を考える週間の行事、確定申告期間の協力等を別掲のとおり行った。

6. 東法連及び第3ブロック法人会関係

上部団体である東法連及び近隣の10法人会で組織している東法連第3ブロック法人会の諸会合に参加し、法人会活動についての意見交換を行った。

II. 税制税務関係

1. 法人会の設立趣旨である適正かつ公平な税制の実現を期するため、税制税務委員会が中心となって、全国法人会総連合へ提出する要望事項を検討した。
2. 令和6年10月3日(木)、鹿児島主管の第40回法人会全国大会が城山ホテル鹿児島にて開催された。当会からは、伴会長はじめ4名が参加。全国法人会総連合で取り纏められた令和7年度の税制改正要望が会場で採択された。これらの内容を要望書として地元国会議員、大田区長に対し、手渡し陳情を行うなど積極的な活動を展開した。
2. 政府が令和6年12月27日に令和7年度税制改正大綱を閣議決定した。法人会が提言していた中小企業に対する軽減税率・投資促進税制などは2年間延長され、税と社会保障制度に対するあり方をめぐって個人所得課税では、基礎控除・給与所得控除が引き上げられることで、「年収の壁」への対応が始まりました。

〈 令和7年度 税制改正スローガン 〉

- ・「金利のある世界」が到来。新たな財政再建目標の策定を！
- ・企業への過度な保険料負担を抑制し、経済成長を阻害しない社会保障制度の確立を！
- ・人手不足など厳しい経営環境を踏まえ、中小企業の活性化に資する税制措置を！
- ・中小企業は地域経済と雇用の担い手。本格的な事業承継税制の創設を！

III. 広報関係

会の対外的な情報発信と認知度の向上を担っている広報委員会においては、昨今の情報発信ツール、メディアの多様化に併せるべく、会報誌「法人かまた」の発行のみに留まらず、映像媒体を活用しての広報活動も視野にいたった編集を行っている。

※広報誌「法人かまた」は、税務ニュース・経営・地域情報並びに法人会活動を掲載し、隔月奇数月に6巻を発刊した。(第514号～519号)

会報誌「法人かまた」の掲載内容についての改善点

- ・公益性あるバランスのとれた誌面づくりの中で、会員相互の交流、地元の情報発信という側面にも配慮した内容を心がけた。
- ・広報誌の顔である表紙については、「蒲田らしさ」のある風景を取り上げてきたが、今後も、各地域の特色が伝わるスポットなどを取り上げていく予定である。

IV. 公益事業関係

1. コロナ前の例年通り各種の研修会、説明会、講演会等が本部並びに支部において、また、税務署の講師による税務研修会等も全ブロックにて別掲のとおり実施された。
2. 『税を考える週間』の協賛行事
 - (1) 11月10日(日)に蒲田税務六団体による税の街頭広報活動が行われ、税のチラシ、ボールペン等が配布された。
 - (2) 青年部会・女性部会が中心となり、10月31日(木)に大田区民ホール・アブリコ大ホールにて第32回チャリティー寄席が開催され、会員並びに地域住民713名が来場した。出演は三遊亭小遊三、U字工事、ねづっち、三笑亭夢太郎。寄席終了後には抽選会も行われた。なお、このチャリティー寄席の寄付金は、日本赤十字社へ寄付した。
 - (3) 11月19日(火)の税務連絡員会同後に「特別講演会」を開催した。講師は漫画家・コメンテーターとしても著名なやくみつる氏。演題は『やくみつるの「ここだけのはなし」』
3. 所得税確定申告期間には、京浜蒲田商店街、雑色商店街、矢口渡商店街、武蔵新田商店街に確定申告の横断幕を設置し広報活動を行った。
4. 租税教育
 - (1) 蒲田税務署管内の小学校へ青年部会の役員が出向き、6年生を対象に租税教室を開催し講師を務めた。中萩中、北糺谷、仲六郷、矢口の4校にて実施した。
 - (2) 青年部会・女性部会合同にて夏休みに開催されている租税教育イベント「サマー税ミナール」が7月27日(土)に羽田のPIO・PARKにて開催された。昨年好評であった「とうふ作り体験教室」をさらにブラッシュアップして開催。申込者183名より抽選で64名が参加し、さらに開催数を増やしてほしいという意見も頂いた。
 - (3) 10月27日(日)には、第3ブロックの三法人会青年部会合同で毎年開催している租税教育イベント「O-TAX」が開催された。今回は当会が主催となり昨年同様カードゲーム形式で「パン屋さんの経営にチャレンジ!」を開催し、税金の仕組みを学んだ。当日は、蒲田税務署から望月署長他幹部3名、法人会からは伴会長、大塚公益事業委員長が来賓として出席された。
 - (4) 全法連女性部会連絡協議会統一事業の14回目となる「税に関する絵はがきコンクール」では、

蒲田税務署管内の小学校6年生を対象に税に関する絵はがきを募集し124点の応募があり、優秀作品12点を表彰した。賞の知名度を向上に資すべく、税を考える週間(11月11日～17日)にグランデュオ蒲田東館3F 東西連絡通路にて大森、雪谷と合同で入選作を展示した。

5. 支部における社会貢献活動

- ・8月18日(日)に開催された大田区立うめの木園での「いきいき祭り」にて、東糀谷支部が模擬店での販売を担当した。(東糀谷支部は毎年参加)
- ・3月30日(日)大田区総合体育館にて開催された NPO 法人スマイルかまた主催の第7回ボッチャ体験教室・交流大会に西蒲田支部が参加し、障害者の為に考案された球技ボッチャ(車椅子にて投球)の体験教室をサポートした。

V. 厚生共益事業関係

会員の福利厚生事業として、会員間の親睦を目的とした事業を開催した。また、経営者大型保障制度をはじめとする各種共済制度の加入促進、儀式サービス制度の普及推進、成人病予防健康診断の受診普及、福利厚生制度優待利用等の一層の普及に努めた。

1. 企業経営者や従業員の福利厚生と企業経営の安全を図るため「経営者大型総合保障制度」、「東法連特定退職金共済制度」の普及並びに加入推進を行った。(引受保険会社:大同生命保険)
2. 経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る「東法連ビジネスガード」等経営保全プランの普及推進に努めた。(引受保険会社:AIG損害保険)
3. 経営者及び従業員の福利厚生制度として「がん保険」「介護保険」「医療保険EVER」「終身保険WAYS」「給与サポート」等の普及推進に努めた。(引受保険会社:アフラック生命保険)
4. 会員の福利厚生の充実を図るため「葬儀支援サービス」制度の普及推進に努めた。(提携:全国儀式サービス)
5. その他各種共済制度の普及推進に努めた。これら厚生事業に伴う収益は、当会の財政基盤の安定に貢献している。
6. 会員企業役職員の健康推進のため、成人病予防健康診断の受診普及に努めた。
 - ①レントゲン車による健診 (一財)全日本労働福祉協会
 - ②1日人間ドック 楠樹記念クリニック(新宿)
7. 会員親睦ボウリング大会を3月6日(木)に品川プリンスホテルボウリングセンターにて開催。22 チーム計91名が参加した。
8. 公益事業委員会と共催で第25回親睦チャリティーゴルフ大会を、10月1日(火)に昨年同様戸塚カントリー倶楽部にて開催。参加者59名(15組)当日のチャリティー募金は大田区社会福祉協議会へ寄付した。
9. 高い関心を寄せられている健康についてのセミナーを、ただ聴くだけでなく測定やエクササイズ等も取り入れた内容で3回開催した。

10. 9月20日(金)プラザ・アペアにて会員増強・福利厚生制度推進会議を総務組織委員会と共催で開催し、会員増強運動スタートの意識高揚と共済会社との連携の確認を促した。
11. 会員企業へ「東京ディズニーリゾート特別利用券」を配布した。

VI. 青年部会関係

1. 部会の通常総会にあたる女性部会との合同報告会を5月24日(金)プラザ・アペアにて開催した。第1部では活動報告を、第二部ではどなたでも参加いただけるように、講演会は声帯模写の丸山おさむさんをお招きし「笑いとコミュニケーション」と題して開催した。
2. 部会の大きな柱である租税教育の一つ、小学校での租税教室は、上半期2校下半期2校計4校の実施となった。参加生徒数は計222名。
3. 夏休みの租税教育イベントとして女性部会と合同で毎年実施しているサマー税ミナールを、7月27日(土) 羽田 HICity の PIO・PARK にて、昨年好評だった「とうふ作り体験教室」を再度開催した。
4. 視察研修会を6月6日(木)～9日(日)に開催。タイの現地法人ダイキン工業(株)のタイ工場を訪問し、広く会員企業及び地元企業の事業にフィードバックすべく、従業員4千名を擁する総合空調設備工場の製造工程、人的管理システムを見学した。参加者数17名。内容については会報誌に掲載した。参加申し込みについては、どなたでも参加いただけるよう HP 上にも案内を掲載した。
5. 年4回役員が多彩なテーマを持ち寄って行う研修会「イブニングセミナー」は、予定通り4回開催した。「アースフレンズにきた理由と強いチームを作るためには」、「マインドフルネス実践講座」、「『宅建士が教える賃貸不動産会社の裏事情』と「より良い賃貸物件の探し方」」、「現場起点のイノベーション～サイゼリヤで培ったノウハウを活かして～」と今回も多彩な内容で各回とも好評を博した。案内は全会員のほか、どなたでも参加できるよう HP 上にも掲載した。(全回リアルにて開催)
6. 女性部会と合同開催の税務研修会を9月4日(水)法人ビル4F研修室にて開催。テーマは「成功する生前贈与 Q&A」と誰もが避けて通れない内容。講師は蒲田税務署資産課税部門南上席国税調査官。
7. 11月7日(木)・8日(金)開催の全国青年の集い・福井大会は、役員3名が大会式典、講演会等に参加し、租税教室プレゼンテーションなどに参加し、自会の租税教室をより良くするためのモチベーションアップと刺激を得ることができた。
8. 役員会は予定通り年11回開催した。
9. 大田区内の3法人会青年部会で合同開催している租税教育イベント「O-TAX」は、蒲田法人会が幹事会となり、羽田イノベーションシティにて昨年同様カードゲーム形式でパン屋さんの経営者になって税金について学ぶ「パン屋さんの経営者になろう!」を開催。蒲田からは役員16名が運営に参加した。
10. 動画配信では、部会の対外的な活動を目で見て理解、認知してもらうべく、サマー税ミナール、O-TAX、チャリティー寄席、親睦チャリティーゴルフ大会などの部会活動のコンテンツを HP にて掲載した。

11. 上記の部会活動の他、本会のチャリティー寄席、会員親睦チャリティーゴルフ大会では、運営の中心となって活動、新年賀詞交歓会では女性部会とともに部会クイズ大会を開催した。

VII. 女性部会関係

1. 部会の通常総会にあたる青年部会との合同報告会を5月24日(金)プラザ・アペアにて開催した。講演会には声帯模写の丸山おさむさんをお招きし「笑いとコミュニケーション」と題して開催した。
2. 夏休みの租税教育イベントとして青年部会と合同で毎年実施しているサマー税ミナールにて、当日の受付等開催運営を補助した。
3. 「おしゃれレシピ」では、10月3日(木)産業プラザ PIO の和室にて太極拳エクササイズ「宇宙に旅する太極拳～人は宇宙を目指す」を開催した。講師は太極道家いしいまゆみさん。参加者数17名。
4. バス見学会では、3月18日(火)に「食品ロス削減研修会～食のリサイクルを考える～」を開催。東埼玉資源環境組合第一ごみ処理施設を見学した。内容については会報誌に掲載した。参加者数21名。参加申し込みについては、どなたでも参加いただけるよう HP 上にも案内を掲載した。
5. 青年部会と合同開催の税務研修会を9月4日(水)法人ビル4F研修室にて開催。内容・講師の手配を担当した。テーマは「成功する生前贈与 Q&A」と誰もが避けて通れない内容。講師は蒲田税務署資産課税部門南上席国税調査官。
6. 役員会は計6回開催した。
7. 全法連女性部会連絡協議会統一事業の「税に関する絵はがきコンクール」では、124点の応募があり、優秀作品12名には賞状と賞品、参加者全員に参加賞を発送した。
8. 上記の部会活動の他、本会のチャリティー寄席では、運営の中心となって活動、新年賀詞交歓会では青年部会とともに部会クイズ大会を開催した。